

春日部市観光振興基本計画

2019－2027



KASUKABE



ごあいさつ



近年、観光が国の重要な施策として位置付けられるようになり、観光を取り巻く市場のニーズについても、国内の社会環境や海外諸国の経済発展などを背景に、急速に変化を続けています。特に日本を訪れる外国人観光客数は継続的な増加を続け、かつその市場の多国籍化が進展しています。政府は、2016（平成28）年に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、「観光先進国」としてさまざまな施策を展開するとともに、「2030年に訪日外国人観光客数6,000万人」という大きな目標を定めており、本市を来訪する外国人の数も増加していくことが推測されます。

このような中、春日部市では、平成30年度から今後10年間の春日部市のまちづくりの指針となる「第2次春日部市総合振興計画」をスタートさせており、この計画に掲げる基本目標の一つである「地域の資源を活かした魅力あふれるまち」の実現に向け、観光資源の魅力向上、観光施設の整備とネットワーク化、観光情報の充実、そして、地域の特色ある文化や伝統ある特産品などの身近な財産を最大限に生かせるような施策を実施しているところです。

新たな試みといたしましては、平成30年8月から日本が世界に誇る防災システムである首都圏外郭放水路を、広く国内外からの来訪者を集める本格的な防災観光インフラ施設として活用すべく、「民間運営見学システム」による社会実験を開始しました。このほかにも、本市には、街の中心を流れる自然豊かな大落古利根川、神明貝塚などの文化遺産、豊かな農村景観と農産物、桐箆笥や桐箱、麦わら帽子、押絵羽子板などの特産品、大凧あげ祭りや夏まつりに代表される季節折々のイベントなど多種多様な観光資源があり、これら地域の資源をさらに磨き上げ、新たな価値を創出し、次代に引き継いでいくことが期待されています。

観光を取り巻くこれらのダイナミックな変化を踏まえ、現在の「観光地としての春日部市」の姿を客観的に把握し、今後目指すべきビジョンを明確にするため、「春日部市観光振興基本計画」を策定しました。本計画では、観光地としての春日部市のさまざまな課題や強み・市場特性を明確にし、住民、関係団体、観光事業者、交通事業者などの皆様とともに、本市の観光を盛り上げてまいりたいと考えております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

春日部市長 石川良三

目 次

市の概要

第1章 計画策定の趣旨

- 1-1 計画策定の目的 8
- 1-2 計画の位置づけ 9
- 1-3 計画期間 10
- 1-4 本計画が対象とする「観光」の範囲 10

第2章 春日部市を取り巻く観光の現状と課題

- 2-1 観光を取り巻く国内の市場環境 12
- 2-2 春日部市の観光の実態 14
- 2-3 春日部市の観光の強みと課題 38

第3章 春日部市の目指す観光

- 3-1 春日部市の観光が目指す方向性 46
- 3-2 観光基本方針 50
- 3-3 観光基本方針の展開 52
- 3-4 目標設定 64

第4章 計画の推進体制

- 4-1 計画の推進体制 68
- 4-2 計画実施の進捗管理 72

巻末資料

- モデルコース 76
- “かすかべ”の魅力 82
- 計画策定経過 90



市の概要

市の概要

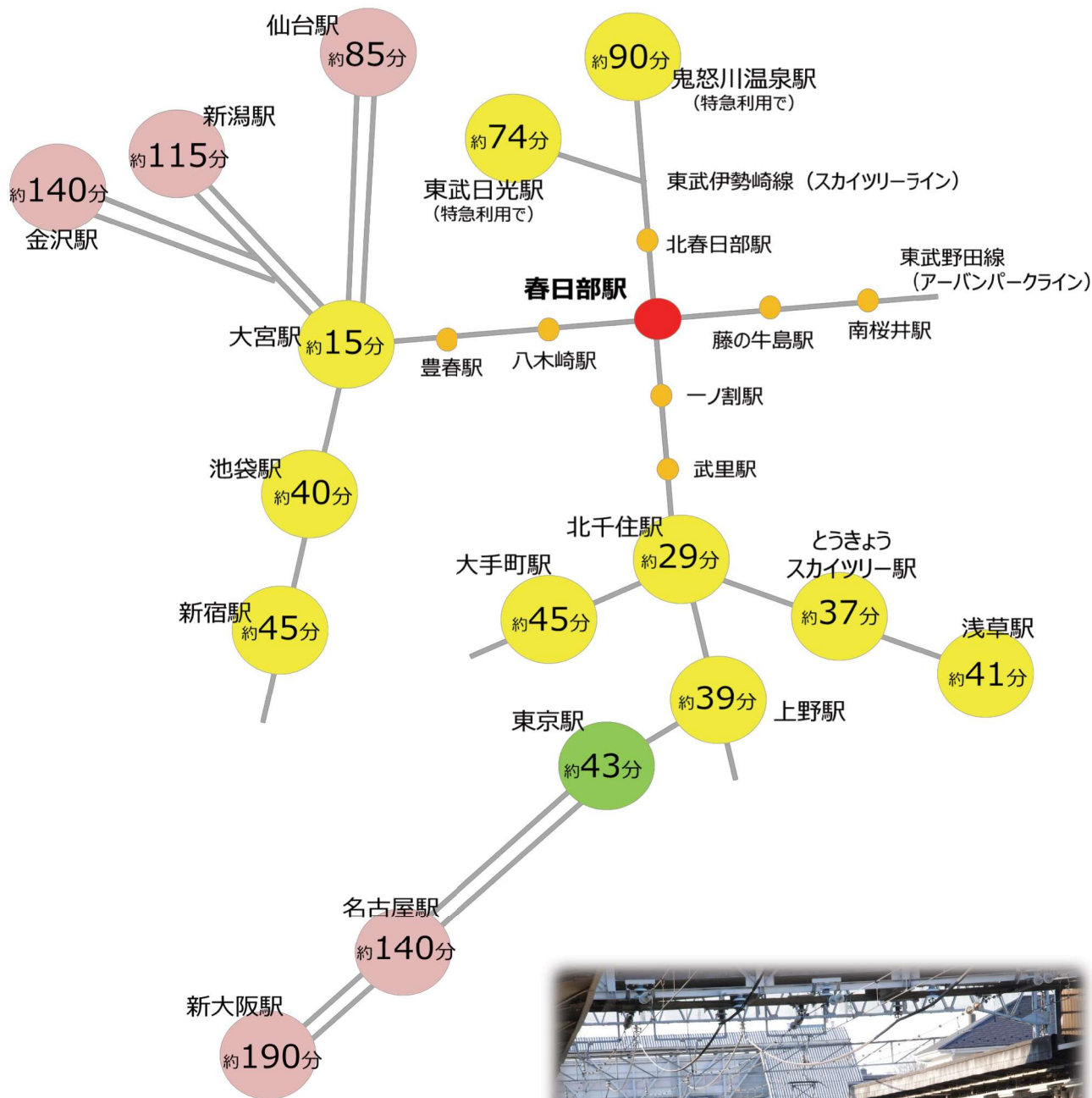


本市は、埼玉県の東部に位置し、南北約12km、東西約11km、面積66km²の市域を有しています。都心から35km圏内にあり、北は宮代町、杉戸町、南は越谷市、松伏町、西はさいたま市、白岡市、東は江戸川を挟んで千葉県野田市と接しています。

東京のベッドタウンとして、また県東部地域の商業の中心として発展してきましたが、肥沃な土壌と大落古利根川や江戸川などの豊かな水利を生かした田園地帯も広がっています。

交通面では、東西方向に東武野田線と国道16号が横断し、南北方向には東武伊勢崎線（地下鉄日比谷線、同半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と国道4号・4号バイパスが縦断し、高い利便性を有しています。

～春日部駅へのアクセス～



【特急スペーシア】

- * 表示分数は日中時の標準所要時間で
時間帯により多少異なります
- * 乗り換え、待ち時間などは含まれておりません